「大腿骨近位部骨折患者における術後早期の経口摂取レベルと臨床転帰に関する研究」について

１．研究の対象

当院において 2026 年 1 月 1 日から 2026 年 10 月 5 日までの期間に、大腿骨近位部骨折に対して手術加療を受けた 65 歳以上の方

２．研究目的・方法

本研究の目的は、第一に術後早期の経口摂取レベルと退院時の日常生活動作(以下、ADL)との関連を明らかにすること、第二に術後早期の経口摂取レベルと術後肺炎、低栄養リスクおよび入院中死亡との関連を副次的に検討することです。

本研究において、経口摂取レベルは Functional Oral Intake Scale（以下 FOIS）という尺度を用いて現在どの程度、食べ物や飲み物を経口摂取しているかを 1 から 7 段階で評価します。本研究を行うことで、FOIS が術後早期の患者さんをリスクごとにグループ化したり、言語聴覚士による詳細な評価・介入の必要性を判断する際の補助的指標にしたりする助けとなり得るかについて、今後検討する材料になると考えています。

研究は、対象となる患者さんの電子カルテ内の過去の通常診療記録を個人が判別できないように収集し解析検討を行います。

研究期間は、病院長許可日から 2029 年 3 月 31 日までです。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、認知症の有無、血液データ（CRP、Hb）、簡易栄養状態評価（MNA-SF）スコア、手術に関する記録（手術前の身体状態：ASA-PS、術式、気管挿管の有無）、術後早期と退院時の ADL 評価：BI、術後早期の経口摂取レベル：FOIS、術後肺炎の有無および発症までの期間、転帰　等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3　Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院　リハビリテーション技術科　岩下草太